

科目名	教員名	2023年1月27日	
教育臨床心理学（金曜5時限）	前田 基成	試験時間 90分	
指定クラス	解答用紙	計算用紙	持ち込み
なし	2枚（A4両面2枚）	なし	一切不可

受験上の注意

1. 電子辞書の使用は不可とする。
2. 解答する順は問題順でなくてもかまわないが、どの問題の解答かわかるように、解答する際は問題の番号を明記すること。
3. 解答用紙の追加は認められない。与えられた用紙の範囲内で解答すること。

【問題1】 2人の高校生が、次のような対人関係に関する行動パターンをとっている。その背景に乳幼児期の母子関係にあるとしたら、それぞれの高校生について考えられることを説明せよ。なお、解答には次の2点を必ず含めること。①アタッチメントと内的作業モデルという考え方。②アタッチメント・システムという考え方

エツコ：親密さへの欲求が強く依存的である。ストレスに感じるがあると、友人に長時間、話を聞いてもらわないと気が済まない。相手に迷惑がられていると感じても話を聞いてもらわないと不安である。その反面、友人から拒絶されるかもしれないということに非常に敏感でもある。

タロウ：距離を置いた人間関係を好み、親しい友人関係に煩わしさを感じる。ストレスに感じるがあっても、だれかに話を聞いてもらう、相談するということはしない。反対に付き合っている恋人が困って話を聞いてほしいと言っても、煩わしさを感じ、あまり聞こうとしない。

【問題2】 いわゆる「挫折愛型」のストーカーの心理について、以下の（ ）内の語句をすべて用いて説明せよ。なお、（ ）内の語句を用いた箇所は、初出に限りアンダーラインを付して示すこと。

（自己万能感，ゼロ・サムゲーム，自尊心方略，自己確証理論，健全な自己愛）

【問題3】 大きな失敗をしたり、連続して失敗を経験したりすると、落ち込む、気分が沈む、ゆううつになるなどの抑うつ感情をだれもが感じる。しかし、それが高じて抑うつ状態やうつ病までなるかという、そのようになる人もいればならない人もいる。このことを素因ストレスモデルという考え方から論述せよ。

【問題4】 愛情遮断性症候群とホスピタリズムについて、①それぞれどのようなものか説明し、②2つに共通してみられる症状をあげ、それが見られるのはなぜか生理学的な観点から説明せよ。